

# まほるば



## 病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第98号

2009年9月発行

## 【コラム】DPCの導入に向けて

DPC（急性期入院医療の診断群分類に基づく1日当たりの包括評価制度）は2003年4月1日、82病院でスタートし2009年8月には全国で1283病院（全体の15%）、ベッド数で43万4231床（一般病床の48%）に及んでいます。

毎年6月に準備病院の募集が行われていますが、当院では出来高払いとの比較で、明らかに減収になること、さらに調整係数が2010年から段階的に廃止されることなどから、今年度の準備病院への参加を見送りました。

しかし、今後、調整係数に替わる機能評価係数が導入されると同時に「急性期医療への資源の集中投入」が確定的であることなどから、2010年のDPC準備病院への参加（2012年の対象病院）を目指すこととしました。

DPCの議論は経営的な観点が先行しがちですが、DPCの本質は医療情報の標準化と透明化にあるといわれています。各病院の詳細な診療情報は厚労省に報告され、疾患毎・病院毎の在院日数、治療手段、術後



合併症、経費の内訳等々が明らかとなります。全国の病院のデータと比較することにより、自院のおかれている位置を客観的に把握でき、診療の標準化・効率化につながりますが、DPCの導入には課題が山積しています。

- 1) 在院日数の短縮をどのように実現するか・・・クリティカルパスの作成をすすめ、医療の標準化・効率化をはかることが必須となります。また地域医療連携を一層進める必要があります。
- 2) ICDコーディングを誰が行うか・・・一般には医師と事務担当者の共同作業と言われています。
- 3) インフラの整備・・・オーダリングシステムの導入が必要となります。電子カルテは必要か？
- 4) ICU（現在は院内ICU）の再稼働が必要となります。
- 5) 医療コストの低減化・・・SPDをすすめ、後発医薬品への切り替えを加速させねばなりません。・・・これらの問題は職員が一丸となって取り組まなければ解決できません。

諸問題を解決しDPC導入の道筋をつけるために、9月にDPC運営委員会を設置することとしました。様々な課題を検討すると同時に院内の勉強会を企画することとなります。皆様のご協力をお願いいたします。

院長 佐藤 年信

## 「極彩色の津軽の夏ー弘前ねぶたまつりー」

短い津軽の夏を勇壮華麗に彩る「弘前ねぶたまつり」は、今年も8月1日（土）～8月7日（金）の7日間開催されました。前半は夜になると雨が降って肌寒い、という天気が続きましたが、夜間運行最終日の6日は、空に月が輝く好天の下で出陣となりました。

今年は初出陣5団体を含む82団体が参加、現在の合同運行方式となった1975年以降最も多い参加数と



なりました。

扇ねぶた前面の躍動感溢れる極彩色の錦絵は勿論のこと、裏面の幽玄優美な見送り絵を見比べるのも毎年の楽しみです。ねぶたの集合地点では、出陣を待つ間



に自分の参加団体以外のねぶたを見て歩きます。お囃子や「ヤーヤ ドー」の掛け声で、今か今かと出陣を待つこの集合地点、じっくりねぶたを見て楽しむには実はぴったりなのです。数年前からは、携帯電話でも参加ねぶた情報を始め、まつり各日の運行順や現在位置が確認できるサポートサイトができ、参加する側も観る側も随分と便利になりました。

「来年のねぶたがもう待ち遠しい・・・」そんな方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

入院係 工藤 真淑

# 外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2009年9月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		人見博康	人見博康	人見博康	人見博康	人見博康
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
消化器・血液内科		山口公平	週毎に交替で担当 ①吉谷/松木 ②松木/山口 ③山口/吉谷	山口公平	山口公平	-
		吉谷元		松木明彦	吉谷元	松木明彦
		佐藤年信		-	佐藤年信	-
小児科		野村由美子	野村由美子	杉本和彦	野村由美子	野村由美子
		杉本和彦	佐藤工	八木弘子	佐藤工	杉本和彦
外科		田澤俊幸	高橋克郎	横山昌樹	横山昌樹	三上勝也
		三上勝也	三上勝也	田澤俊幸	高橋克郎	横山昌樹
整形外科	午前	柿崎寛	柿崎寛	秋元博之	秋元博之 鈴木雅博	柿崎寛
		鈴木雅博	能見修也	鈴木雅博		木村由佳
	午後	-	-	-	-	柿崎寛
脳神経外科		-	-	木村正英	-	-
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	● 予約	● 手術	● 予約	● 手術	● 予約
泌尿器科		大和隆	大和隆	大和隆	大和隆	大和隆
産婦人科		真鍋麻美	片桐清一	真鍋麻美	● 妊婦検診 (一般外来休診)	片桐清一
		田中加奈子	小笠原智香	小笠原智香		田中加奈子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子	黒田令子	● 手術 (一般外来休診)	黒田令子	黒田令子
		二井一則	二井一則		-	二井一則
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	-	-	川口英夫 (午後)	-	-
麻酔科		● 手術	● 手術	● 手術	工藤明	● 手術
女性専用外科		杉本菜穂子 (※予約制/第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		-	-	-	今 充	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

## 【シリーズ】臨床検査のABC 細菌検査シリーズ⑥

今回は②の培養検査(固形培地法:小川培地、液体培養法:MIGIT)についてお話しします。

★培養検査(抗酸菌を増やす)

当院では現在のところ外部委託していますが簡単に培養検査について説明します。

結核菌は一般細菌(大腸菌・ブドウ球菌などの一般



細菌)と比べて目に見える大きさ(コロニーを作る)に増えるまで時間がかかります。従来は固形培地法(小川培地、工藤PD培地等)を使用して4週~8週間かけて培養していましたが、最近液体培地を利用した自動培養装置(MIGIT、バクテアラート等)が使用され1週~2週間に短縮されています。

次回は同定検査を予定しています!!

臨床検査技師長 高橋 俊英

## 市民講座 7月22日「血液の病気：貧血って何？」

貧血は身近な病態ですが、その原因は多岐にわたり、また治療方法もその原因によって様々です。貧血とは酸素の運び手である赤血球が何らかの原因で減少したり、赤血球中の酸素と結合するタンパクであるヘモグロビンが減少したりすることにより、各臓器の酸素不足を生じ症状を呈してきます。症状では全身倦怠感・動作時の息切れ・顔面蒼白などがあります。また慢性的に進行した貧血の場合、体が貧血の状態に順応してあまり症状が出ない場合もあり、



健診をきっかけに受診なさる方もいらっしゃいます。貧血の原因として最も多いのはヘモグロビンを作る材料である鉄が不足する鉄欠乏性貧血ですが、最近、骨髄異形成症候群などの血液を作る工場である骨髄の病気や血液の癌である白血病や多発性骨髄腫などの病気も増加傾向にあります。さらに貧血の原因として背景に癌などの大きい病気が隠れている場合もあります。貧血の症状がある場合や健診などで貧血を指摘された場合、まず原因が何かを調べるのが大切です。簡単な採血検査をまず行うことで色々なことが分かることもできますので、そのままほっておかないで病院を受診することをお勧めします。

消化器・血液内科医師 山口 公平

## ☆BHFだより☆ 母乳外来～他院で出産した方もOK 卒乳まで見守ります～

当院の母乳外来は、平成14年11月より開設されました。それまでは、お母さん方が母子医療センターを退院後は1ヶ月健診まで、おっぱいの状態や赤ちゃんの哺乳状態を確認できませんでした。そこで、母乳で悩むお母さん方の支援を行いたいと考えたことがきっかけです。

当院で分娩された方は勿論ですが、母子センターホームページをご覧になったり、友人から勧められた方、他院で出産してミルクを飲ませているが、やはり母乳で育てたいと思っている方も随時受け付けております。おっぱいの状態を見て、赤ちゃん



の体重や哺乳量を測定しながら自宅で困ったこと、家族との関わりや赤ちゃんの様子などいろいろな話題を通して、一つひとつ、ご支援できるよう努めています。母乳外来での観察・ケアの内容は“おっぱいノート”に記録して母子手帳に携帯しますので、ご本人はもちろん家族の皆様にもご活用いただけます。

妊娠期～卒乳まで安心して母乳育児を楽しんでもらえるよう地域への情報発信源となり、納得と満足いただけるキメ細かなケアの提供を目指しスタッフ一同頑張っております。今日も授乳室では懐かしい面々が集い、にぎやかな時が過ぎていきます。

母子医療センター助産師 太田 智恵子・戸澤 君枝

## ☆「学校見学会」☆

去る7月24日金曜日「看護学校見学会及び公開講座」を実施致しました。今年の参加者は高校生が47名、社会人が3名の計50名でした。

公開講座は、新型インフルエンザが流行していることから「手洗いの実際～手洗いの重要性を知ろう～」



というテーマで講義と演習を実施しました。その他の演習は「採血」「沐浴」「洗髪」「血圧測定」等でした。演習は3年生がボランティアで参加し、学んだ技術を主体的に活き活きと高校生に説明してい

ました。

見学者からは「実際に体験することができて、すごく楽しかったし、ためになりました。」「演習などがとても興味深くわかりやすかった。」「看護についてももっと学びたいと思いました。」「改めてこの学校へ入りたかった。」「等うれしい感想をいただきました。

看護学校教育主事 須藤 光子

## — 金魚ねぶた —

弘前の夏の風物詩「弘前ねぶたまつり」が近づいてきて、夕方になると近所の町内からねぶたまつりに向けたお囃子のけいこの音が聞かれるようになった7月の下旬、この風情なお囃子の音に誘われてか、当院の外来ホールにも1年ぶりに10匹のかわいい金魚ねぶたが戻ってきました。

この金魚ねぶた、とても愛嬌があってなんともいえない和やかな雰囲気を出してくれますが、由来は津軽藩のお殿様が「津軽錦（つがるにしき）」という津軽独特の金魚をかわいがっていたとされ、当時高価で

一般庶民は飼うことができず、これに似せたねぶたが作られたということです。

自由きままに泳いでいる10匹

の金魚ねぶたたち、どうか弘前病院の患者さまを温かく迎え、見守り続け、そして元気を与えてください。

庶務班長 豊田 篤



## ☆高校生一日看護体験

7月30日(木)、実際の看護の体験をとおして看護のこころの理解と看護を志す動機付けの目的で高校生一日看護体験が行われました。今年は県内一円から10校の高校より17名の高校生が、看護師そして医療機関で働くことを描き参加しました。

午前中は、佐藤病院長の弘前病院の概況、高橋看護部長による看護の概念、須藤教育主事の看護学校の説明を聞き、看護師の仕事やなるためにどうすればよいのかなどへの理解が深められました。

院内見学では、母子医療センター・検査科・放射線科・外来・薬局・リハビリにおいて各部署からの説明に「医師と看護師だけで病院は成り立っていないんだなあ」と改めて思った」といったことが寄せられました。

午後からは、白衣に着替え各病棟で車椅子に乗ったり、患者様の足浴などの臨場感あふれる



看護体験をしてもらいました。

看護体験後、参加された高校生の皆さまに感想を語って頂き、足浴では「ありがとう」と言ってもらえてすごく嬉しい気持ちになりましたと実際に看護師と患者様の関わりを目の当たりにして、大きな刺激となったようです。

将来の仕事として看護師になりたいと思い、はじめて見る世界に緊張しつつ、感動と共感を持ってもらったことは後継者づくりを担うものとして、参加された高校生の皆さまに感謝します。

西3病棟副看護師長 山田 佳子

## 【ふるさと紹介】 山形県酒田市

私のふるさと山形県酒田市は山形県と秋田県の県境にある港町です。

最近では、映画「おくりびと」のロケ地として話題となり観光客がたくさん訪れているそうです。(「おしん」のロケ地としても有名です。)

そして、登山客に人気の鳥海山、船下りで有名な最上川など海・山・川があり、海の幸、山の幸、川



の幸とそれぞれ美しい食べ物がたくさんあります。また、郊外に出ると庄内平野が広がり、夏は一面緑の絨毯、秋は黄金色の稲穂がとてもきれいです。さらに鳥海山の雪解け水と庄内のお米で作った「お酒」はとても美味しいので是非、御賞味頂ければと思います。

もっとたくさんの方に「酒田」を知って頂き実際に町を歩いてガイドブックには載っていない良いところを見つけて頂けたらなあと思います。

私自身も初めての弘前なので、機会があれば弘前の良い所を教えてください。

栄養士 四釜 諒子

## 【今月の川柳】

★【川柳募集】 あなたの川柳をお待ちしています。

※ 広報誌編集委員会で選出した作品を掲載いたします。

## お知らせ

※毎月、第4水曜日地域医療研修センターにおいて、当院職員による市民講座を開催しております。参加は自由ですので、ぜひ参加下さい。

9月は30日(水)開催の予定です

### ◆ 患者相談窓口

【患者相談室】のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

発行元 **独立行政法人国立病院機構弘前病院**  
Hirosaki National Hospital  
責任者 臨床研究部長 泉井 亮

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地  
TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>